

1. 書誌レコード修正の指針

1.1 書誌レコード修正の原則

- ・ 「目録情報の基準」や目録規則などに照らして誤りではない場合、原則として最初に作成された書誌レコードを維持する。
- ・ データが正確かつ豊富になるように修正を行う。

1.2 書誌レコード修正の範囲

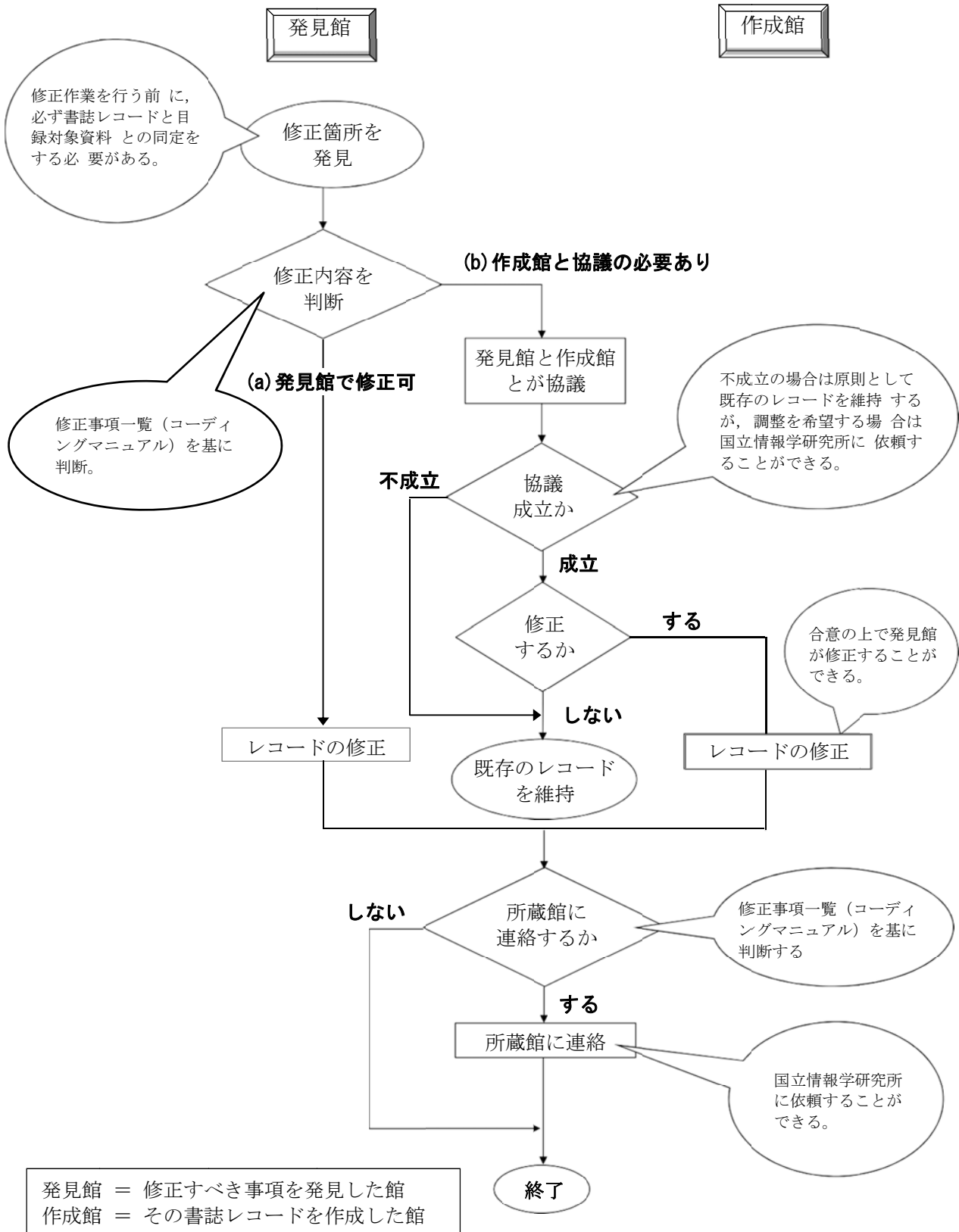
- ・ 修正を行う必要がある。
 - ・ データに明らかな誤りがある。例) 転記の際の単純な記入ミス
 - ・ データが「目録情報の基準」や目録規則と合致しない(図書書誌レコードの作成単位を含む)。
- ・ 可能ならば修正することが望ましい。
 - ・ 入力レベルが「選択」である項目に対するデータの記入・追加 例) VT フィールドの追加
 - ・ 入力レベル「必須」の項目で、複数のデータが存在するときの 2 番目以降のデータの記入・追加
- ・ データが未記入であるときの記入・追加に際しては、改めて書誌レコードの同定を行う必要がある。
 - 例) PTBL フィールドの追加
- ・ それ以外の修正(自館の都合によるデータの削除など)は行ってはならない。
 - 例) SH フィールドの削除

なお、修正を行う際でも、以下のような場合には、修正事項を発見した館が独自に修正を行ってはならず、当該書誌レコードの作成館との協議が必要である。

- ・ 書誌構造に変更を及ぼすような修正 例) PTBL フィールドの追加
- ・ 別途書誌レコードを作成するか否かの根拠となるような情報の修正 例) ED フィールドの追加

2. 書誌レコード修正作業の流れ

2.1 書誌レコード修正作業流れ図



2.2 修正事項一覧（抜粋）

フィールド名	修正事項 (例示・注意事項)	発見館 修正可	作成館 と協議	所蔵館 に連絡
VOL	(1) 新たな巻冊次・部編名の追加	○		
	(2) 装丁に関わる特殊な版表示に関わる語句の追加	○		
	(3) ISBNの説明語句の追加	○		
	(4) 区切り記号の訂正	○		
	(5) VOLフィールドのデータが長すぎるときのデータのVOLフィールドからNOTEフィールドへの移動（ただし、出版物理単位を識別するために必要な情報は残すこと）	○		
	(6) 転記の際の単純な記入ミスに対する訂正	○		
	(7) 書誌単位の取りかたの相違等による個別書誌の統合化（この場合、重複書誌レコードの報告が必要）		○	○
	(8) 書誌レコードを分割するような場合でのVOLの削除 例：装丁に関わる特殊な版表示があるときの分割	○		○
	(9) 書誌単位の変更の結果、階層として表現するためにVOLフィールドを削除するような場合		○	○
	(10) 価格に対する説明語句等の記述を削除する場合	○		

→コーディングマニュアル 21.1

2.3 修正時の基本的対応

1 修正指針をもとに作業を行う。

(a) 発見館が修正を行うことが可能なもの

修正の内容を慎重に検討した上で、当該書誌レコードを修正する。



その他の所蔵館に修正内容を連絡するかどうかを判断する（修正事項一覧を参照）。

(b) 発見館が作成館と連絡・協議をする必要があるもの

必ず作成館と連絡をとり、確認または協議する。



作成館が修正に同意した場合、原則として作成館が当該書誌レコードを修正する。

（双方が同意すれば発見館が修正を行うことも可能）



その他の所蔵館に修正内容を連絡するかどうかを判断する（修正事項一覧を参照）。

2 （所蔵館への連絡が必要な場合）国立情報学研究所へ報告する。

ホームページにある「図書書誌レコード修正報告の受付」から報告する。

URL: <https://cattools.nii.ac.jp/qanda/chguketuke.php>

※平成18年度より、当該書誌レコードにリンクする所蔵館数に関係なく、国立情報学研究所への所蔵館連絡の依頼が可能となった。

2.4 修正時の例外的対応

事 例	対 応
作成館で原資料の確認ができない	発見館は、作成館との合意の上で、修正を行うことができる。
RECON ファイルから取り込まれた書誌レコード (CRTDT に作成日付以外の数字あり) の場合	所蔵レコードから、みなし作成館 (最も先に所蔵をリンクした館) を判断する。
発見館と作成館との間での協議が不調に終わった 基準や目録規則の解釈が目録担当者間で分かれるような場合	原則として修正は行わず、既存の書誌レコードを維持する。 (特に調整が必要な場合には、国立情報学研究所に連絡する)
修正事項一覧に規定されていないような事項	国立情報学研究所に連絡する。
修正の結果、重複書誌が発生してしまった	

また、必要に応じて作成館以外の所蔵館と、修正について連絡・協議をしてもよい。

※ 作成館は、書誌レコードの CRTFA に記録されている。作成館が判明しない場合は、最も先に所蔵をリンクした館 (所蔵 ID の最も小さい館、もしくは所蔵 ID で比較できない場合には所蔵レコードの CRTDT の最も小さい館) を作成館 とみなす。

注：所蔵 ID は<CC・・>より<CD・・>の方が古いので<CD・・>の最も小さい館

なお、典拠レコードの修正については、コーディングマニュアル第 25 章を参照する。

書誌調整に関係するツールは国立情報学研究所のホームページの「目録所在サービス」→ツールにまとめられているので参考にする。

URL: <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/tool/>

掲載されているツール

- ・「NACSIS-CAT 重複書誌報告受付」
(URL: <https://cattools.nii.ac.jp/qanda/dupuketuke.php>)
利用中に重複書誌と思われるものを発見したときの NII への報告用ツール
- ・「NACSIS-CAT 図書書誌修正報告受付」
(URL: <https://cattools.nii.ac.jp/qanda/chguketuke.php>)
書誌修正後、所蔵館への連絡が必要な場合に国立情報学研究所へ報告し
所蔵館への連絡を依頼するツール
- ・「レコード調整連絡ツール」
(URL: <http://mokuren.nii.ac.jp/recordctl/>)
所蔵館への一括メール連絡用ツール (ID・PWが必要)
- ・「NACSIS-CAT/ILL 質問受付」
(URL: <https://cattools.nii.ac.jp/qanda/uketuke.php>)
NACSIS-CAT/ILL を利用して生じた疑問をたずねることができるツール
- ・「NACSIS-CAT/ILL Q&A DB (DB 検索)」
(URL: <https://cattools.nii.ac.jp/qanda/kensaku.php>)
これまでに寄せられた目録所在情報サービス (NACSIS-CAT/ILL) に関する質問と
その回答を検索できるツール